

ProMED-mail情報 2016年1月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
29日	ギラン・バレー症候群 イギリス	過去3ヶ月間、南ウェールズで、小児エンテロウイルスD68感染と関連が疑われる非典型ギランバレー症候群が、成人男性に10人の集積発生。
22日	鳥インフルエンザ エジプト	2015年1月、2月の2ヶ月間にH5N1ウイルスの人感染が88人と急増した原因は不明。三つの状況証拠あり。H5N1とH9N2ウイルスが同時に鳥の間で流行。H5N1は過去にないウイルス変異あり。鳥へのワクチン接種プログラムは失敗。今後、獣医も責任を持ったOne Healthアプローチ関与が必要。
21日	ウエストナイル熱 USA	2015年の罹患数は、カルフォルニア州737人、テキサス州252人、コロラド州101人、その他の州は100人より遙かに少ない数。死者数は、カルフォルニア州45人と記録的に多い人数。
19日	サル痘 中央アフリカ共和国	1月14日にノボム州で2人のサル痘死亡を報告。数人を隔離中。サル痘の主な自然宿主はリスであり、サルは最終宿主。サル痘のヒト感染は感染野生動物または患者体液との接触による。
15日	鳥インフルエンザH5N6 ベトナム	クアンガイ省の養鶏ガチョウに高病原性インフルエンザA(H5N6)ウイルスを検出。824羽に感染し、600羽が死亡。当局は感染制御を開始。
12日	口蹄疫 韓国	全羅北道金堤市で1月11日に30頭のブタに血清型O型口蹄疫流行確認。全頭の670頭を殺処分。
11日	ノロウイルス 米国	ノロウイルスは遺伝子型で6グループ、38タイプに分類され、G4が最も危険な株。オレゴン保健局とCDCは過去10回の流行例62名を調査。70才以上老人の罹病期間は著明に延長。便中ウイルスは68%に確認、47%に21日間以上の便中にウイルス検出。
10日	季節性インフルエンザ ニュージーランド	2015年のインフルエンザワクチンの発症予防は36%、重症化予防は50%。患者から同定されたウイルスの多くはA(H3N2)であり、ワクチン株と違いを認めた。
8日	MERSコロナウイルス 韓国	昨年韓国で流行したMERSコロナウイルスにサウジアラビア流行系統に見られない変異を韓国CDCが発表。ウイルス表面の糖タンパク棘の変異は韓国におけるヒト感染の病原性、感染性に影響した疑いあり。
7日	黄熱 ガーナ	2015年末以降のこの1週間に東部で計12名の報告あり、3名死亡。近年ガーナで散発的な発病あり、2011年に580万人、2012年に170万人にワクチン接種キャンペーンを実施。
7日	住血吸虫症 フランス	2013年にコルシカで120名以上の泌尿器症状が出現したビルハルツ住血吸虫症の流行があった。2015年夏にもCavu川で水泳後の急性感染報告あり、コルシカにおける住血吸虫の土着汚染を推測。
6日	鳥インフルエンザH5N1 エジプト	フルガダ総合病院で1月5日肺炎で死亡した女性の感染報告。6名隔離中。2003年以来、H5N1ヒト感染は15カ国で計844例。
4日	ラッサ熱 ナイジェリア	タラバ州で今年の流行確認。2名死亡、2名隔離。2012年2月にも同州で流行あり、10名が死亡。それに患者を治療した医師1名と看護師2名が含まれた。当局はネズミと患者との接触禁止を指示。
3日	リステリア症 USA	10件のリステリア症について、ブルーベル乳業製造のアイスクリームによる法的瑕疵について捜査中。内3件が死亡。当局は2010-2015年のリステリア症流行の患者から検出された細菌と乳製品から検出された汚染細菌とをDNAで比較調査。